



ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2017
11
No. 740



お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ!
ハロウィン de YY

CONTENTS

【地域のチカラ】

山口市消防団鴻南方面隊
吉敷分団…… 2

インフォメーション…… 4

レポート…… 6

【シリーズ偉人⑩】

熱血俊敏の人
名和道一の生涯…… 7

【シリーズ地名①】

小字の地名(前編)…… 7

【よしきで輝く】

伝統文化吉敷いけばな
こども教室…… 8

かけはし…… 8

YOSHIKI
DATA

【人口】 14,841 (前月比 +34) 【世帯数】 6,173 (前月比 +59)

平成29年10月1日現在



山口市消防団 鴻南方面隊吉敷分団

消防団は、本業をもちながら、地域を災害から守るため、様々な活動を行う組織で、団員は非常勤の公務員です。昨今、全国各地でこれまで経験したことがないような地震や豪雨などの自然災害が発生しており、消防団に対する住民の期待が高まっています。

消防・防災のかなめとして 地域で活動しています

災害時には、市消防本部と協力して消火活動を行ったり、水位の警戒や土のう積みのほか、様々な対応を行っています。

また、仕事が休みの日や、仕事が終わった後に集まって、訓練や機材の整備・点検、さらには住宅用火災警報器の普及活動などにも取り組んでいます。

近年では、応急手当の指導など、日頃から消防・防災のかなめとして、様々な活動を行っています。

頼りになる地元のヒーロー 活動や団員を紹介します

本業のかたわら、志をもつ地域住民で組織された消防団は、いざという時に頼りになる地元のヒーローとも言えます。

吉敷分団の取り組みとともに、個性豊かな団員達を紹介します。

(団員名簿を次ページに掲載)

37名の吉敷人をまとめる分団長 使命と責任を背負って

災害時には、市消防本部や地域交流センター所長からの出動命令を受け、我をさておいて出動し、地域の安心・安全を最優先に行動します。

「大切な分団員37名の生命を預かっている責任を強く感じます。行事等を通して語り合い、信頼関係を深めていくことを心がけています。」とは分団長の吉村和記さん。本業は建設業。



吉村 和記さん(赤田)

日々精進の自主訓練 身体を資本に今日も奮闘

春と秋には吉敷分団独自の訓練を行います。地域内の水利の確認や機械器具の熟達を図り、分団としての技術の向上に努めています。

「やっぱり日頃の訓練が大切ですよね！趣味はラグビーで、とにかく身体を鍛えるのが好きです！自慢の筋肉で地域を守ります！」とは武居義尚さん。本業はフィナンシャルプランナー。



武居 義尚さん(稲葉町)

平成29年度 吉敷消防後援会 予算

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算額	備考
消防後援費	1,000,000	吉敷自治会
合計	1,000,000	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算額	備考
消防出初式	50,000	
一日訓練	110,000	(写真①)
小型ポンプ操法大会	170,000	(写真②)
火災予防運動	140,000	
年末夜警	40,000	
団員激励会	200,000	
分担金	70,000	
夏まつり・ふるさとまつり	60,000	(写真③)
会議費・事務費	160,000	
合計	1,000,000	

※事業の一部を写真等で紹介します。
(表の写真番号は下部の写真)

夏まつり・ふるさとまつり ③



ふるさとまつりのお餅は、まだ暗い明け方から消防団員がみんなで力をあわせて作っています。

小型ポンプ操法大会 ②



毎年7月に開催され、小型ポンプで水を汲み、ホースで火点の的に早く倒すかを競います。

一日訓練 ①



毎年4月に行われる吉敷・大蔵・平川地域合同の一日訓練。全員必ず受けるように義務づけられています。

吉敷分団 団員名簿

階級	氏名	町内名	
分団長	吉村 和記	赤田	
副分団長	馬越 尚史	中村	
部長	寺戸 康徳	上東	
	堂面 彰	中尾西	
機関員長	植野 伸一	赤田	
	永田 純	下東	
機関員	安永 明雄	佐畑	
	中村 公一	中尾東下	
本部班長	古谷 和友	赤田	
本部団員	岩本 幸夫	上東	
	吉近 武志	中村	
	河津 賢二	下東	
	熊谷 淳一	中村	
	馬場 俊作	佐畑	
	木山 光照	上東	
	藤本 勉	中村	
	久保 太郎	中村	
	高松 豊	下東	
	松重 健吾	佐畑	
	山中 薫	赤田	
	1班班長	土田 真平	上東
		加藤 元久	赤田
		前新 素保	赤田
		浅海 智哉	赤田
	2班班長	野口 浩	下東
青野 貴志		下東	
上坂 章人		佐畑	
内田 仁		下東	
2班団員	中村 翔太	上東	
	藤田 和美	中尾西	
	菅野 鉄雄	中尾東下	
3班班長	石田 健二	佐畑	
	坂本 嗣一	中尾東上	
	片岡 勇治	木崎	
4班班長	小林 和之	吉敷畑	
	吉村 正志	吉敷畑	
	武居 義尚	稲葉町	



内田 仁さん(下東)

新年の風物詩 消防出初式 団員達のお正月
 新年は「市消防出初式」が開催され、式典の後は市長が見守る中、各分団の行進。最後は三斉放水を行い、気持ちも新たに団員の年が始まります。
 「本業の庭師と消防団の活動以外は釣りですね！広い海で釣り糸を垂らすのが最高のリフレッシュですよ！」とは内田仁さん。今はグレが旬とのことだ。



坂本 嗣一さん(中尾東上)

訓練の成果披露 ポンプ操法大会 練習の見学はお気軽に
 7月は「小型ポンプ操法大会」が開催され、吉敷分団は大会に向け、毎年5月から地域交流センター駐車場で訓練しています。ぜひ見学にお越しください。
 「20代で入団して、楽しくてあっという間に10年以上経ちました！訓練の後はやっぱり腹が減りますね(笑)。」とは坂本嗣一さん。たこ焼きが大好物。



永田 純さん親子(下東)

地域の行事にも積極的に参加 やぐらの設営に情熱をそそぐ
 毎年、夏まつりでは、やぐらの設営を担っています。日頃から訓練された団結力と行動力で、お祭りの成功と安全を陰で支えています。
 「うちでは代々消防団をやってきました。地域のために、次は息子も消防団に入れますよ(笑)。」とは永田純さん。こう見えてお酒は飲めません。



生涯地域で活躍しよう!

吉敷地域を楽しく盛り上げ、ときには厳しく、ときには仲間と語り合い、生涯、わが地域で活躍しませんか！
「問い合わせ」地域交流センター
 ☎083-922-0668



松重 健吾さん(佐畑)

団員絶賛募集中！ 生涯地域で活躍しませんか！
 地域で様々な活動をしている消防団では、「地元で何かしてみたい」という熱い思いのある方を絶賛募集しています。絆は家族のように固いですよ！
 「地元の交流会で、個性的な団員さんに出会い、思わず入団しちゃいました。チョレギサラダが大好きです！」とは今年入団した松重健吾さん。

イベントカレンダー

つどいの広場「楽楽楽」講座 「ちららの秋祭り」

楽楽楽の畑で、お手や落花生を掘ってみ
んなで食べましょう！お父さんやおじい
ちゃん、おばあちゃん、地域の方の参加も大
歓迎です！

雨天の場合は、部屋の中でお芋ごはんを
食べたり、絵本や紙芝居をしますよ。

とき 11月4日(土) 10時30分～12時

場所 つどいの広場「楽楽楽」

申込 不要

対象 未就園児と保護者

参加費 一家族100円

準備 スコップ、軍手、お茶、汚れてもいい服

主催 つどいの広場「楽楽楽」

☎083-9228-0035



昨年の様子

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食
に関する事など、保健師と栄養士が
相談をお受けします。お友達づくりを
兼ねて、気軽にお越しください。

とき 11月8日(水) 13時30分～14時30分
(受付時間)

場所 地域交流センター和室

申込 不要

準備 母子健康手帳

問い合わせ 市保健センター

☎083-9221-2666

秋の花壇講座

来年の春に向け、土作りや肥料の使
い方、花壇のデザイン等、花壇作りの
基本を学んでみませんか！

とき 11月15日(水) 19時～20時

場所 地域交流センター視聴覚室

申込 不要

講師 吹上笑美氏株式会社 多々良造園

対象 花壇作りに興味のある方

参加費 無料

問い合わせ 地域交流センター

☎083-9222-3915



「吉敷さんぽ」を片手に ふるさとの歴史を学ぼう

10月から始めた「地域散策ガイド
ブック 吉敷さんぽ」による散策を組み
合わせた学習会の2回目は、吉敷さん
ぽを持って良城小学校周辺(約2km)の
幕末明治維新の史跡を徒歩で巡ります。
大人の方だけの参加や、親子での参
加もできます。

とき 11月18日(土) 9時30分～12時

場所 地域交流センター前広場集合

講師 宮田尚氏(佐畑)

対象 小学3年生以上の方 35名(先着順)

参加費 無料

準備 動きやすい服装

※飲み物はこちらで用意します

募集締切 11月15日(水)

申込・問い合わせ 文化振興協議会

☎083-9222-3344

健康教室

保健師さん、食生活改善推進員さん
と一緒に、簡単な体操や茶話会などで、
体も心もリフレッシュしませんか！

とき 11月24日(金) 10時～12時

場所 地域交流センター調理実習室

講師 食生活改善推進員

対象 30名(先着順)

※小学生未満は保護者同伴

参加費 100円

準備 エプロン、三角巾

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-9222-3915

今月のぶっくん(移動図書館)

とき 11月10日(金)、24日(金)

15時20分～16時

場所 地域交流センター 駐車場

11月の予定

4日(土)	つどいの広場「楽楽楽」講座
5日(日)	親睦ソフトボール大会
8日(水)	母子相談
9日(木)	ナイトスクール(交通安全教室)
12日(日)	吉敷ふるさとまつり
15日(水)	秋の花壇講座
16日(木)	ふれあい給食
	良城ふれあいフェスタ
18日(土)	「吉敷さんぽ」を片手にふるさとの歴史を学ぼう
19日(日)	市地区対抗男子9人制バレーボール大会
24日(金)	健康教室
	親睦ゴルフ大会
26日(日)	少年綱引き大会

12月の予定

9日(土)	クリスマスオーナメントづくり
21日(木)	ふれあい給食
25日(月)	YKB会(吉敷交流勉強会)
26日(火)	YKB会(吉敷交流勉強会)
28日(木)	しめなわ飾りづくり

11/12(日)

第42回 吉敷ふるさとまつり



9:00開会 (雨天決行)

昨年のふるさとまつりの様子

当日の交通規制等

- ・ふるさとまつりの開催のため、8時30分から15時30分まで下記の区間が歩行者天国となります。ご理解とご協力をお願いします。
- ・駐車場はありませんので、車以外の交通手段でご来場ください。



名物肉うどん前売り券 絶賛発売中

前売り券は**300円**です。
(※当日券は350円です。)

前売券の販売は11月10日(金)までです。
残り枚数はわずかとなっています。
無くなり次第、販売を終了します。

【うどん券販売所・問い合わせ】
地域づくり協議会 ☎922-3344

切り取り

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～11時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～11時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～11時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～11時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

レポート

プレママ達のヨガ体験

カフェでほっと一息も♪

9月19日(火)、「マタニティヨガ&カフェ」を開催しました。

自身も4児の母である赤田在住の安田佳奈美さんを講師に、プレママさん達がマタニティヨガを体験しました。



ヨガの前には血圧測定なども行い準備OK。座って両腕をあげたポーズや、寝転んで身体を動かすポーズなどとり、ヨガの呼吸法を実践しました。

母子保健推進員さんや、市保健師さんも一緒にヨガを体験し、みんなで楽しい時間を過ごしました。

終了後は、簡単なカフェもオープン。有意義な交流ができましたよ。



良城小児童のはじける笑顔☆ 吉敷幼稚園児は可愛いおぼけ♡

9月30日(日)、良城小学校で、

「吉敷の空にとどろけ応援 輝け笑顔」をスローガンに大運動会が開催されました。

この日のために一生懸命練習してきた団体操や応援合戦、各種競技は白熱して圧巻でしたよ！



10月8日(日)、吉敷幼稚園で、「おぼけ」をテーマに大運動会が開催されました。

園児はもちろん、園長先生や役員の方々もおぼけの仮装をして走ったり、踊ったり。可愛い姿でいっぱいでしたよ。

運動会の役員の方や保護者の皆さんも大変お疲れ様でした！



多様な才能 多様な幸せ 発達障がい視点から

10月12日(木)、良城小学校で「人權教育講演会」が開催されました。

良城小スクールカウンセラーの中村津峰子氏が、発達障がいの視点から、多様な才能、多様な幸せについて講演されました。地域の方々もたくさん参加されていましたよ。



うそ電話にだまされないで！ 街頭で意識啓発ピラ配り

10月13日(金)、JA吉敷支所と

マックスバリュ前で「うそ電話詐欺防止キャンペーン」を開催し、意識啓発のピラ配りをしました。

悪質な詐欺などにあわないよう、日頃から気をつけましょう！



よい子はお菓子がなくても イタズラしちゃいけないよ(笑)

10月14日(土)、「ハロウィンのお

YY」を開催しました。
佐々木範子さんを講師に、ハロウィン用に使える黒いトンガリ帽子や、紙コップとオレンジ色の画用紙でカボチャのランタン型お菓子入れを作りました。



トンガリ帽子もかぼちゃのランタンも、悪戦苦闘しながら、同じテーブルの仲間たちと力を合わせて、力作を完成させることができました！

最後は、かぼちゃのランタンに入りきらないぐらいいっぱいのお菓子を詰め込んで、みんな満足顔でしたよ！

今年のハロウィンも可愛い仮装をした子ども達を見られそうですね！



シリーズ
偉人

10 熱血俊敏の人
名和道一の生涯

名和道一は、天保九年（一八三八）名井弾右衛門の次男として生まれた。良城小学校初代校長の名井守介の実弟で、幼名を服部哲次郎と言ひ、母方の姓を名乗った。

幼少の頃から俊敏、また気骨をもって知られ、京都、大阪などを往来して、早くから勤皇の志士と交わり、吉敷毛利の中でも時代の先端を行き、「宣徳隊」を結成して国事に奔走した。

文久三年（一八六四）の「禁門の変」では、同志とともに「吉敷隊」を結成し、萩本藩の討幕派と呼応して京都に出陣したが、帰郷後、幕府側に付いていた村政府から終身禁錮の処罰を受けた。

その後、内訌で討幕派の勝利により、内海忠勝らの奔走によって罪を許され、大田報介らの下で新しく参政に登用された。



名和道一の墓

この時、姓を「服部」から「名和」へ改めた。名和とは、「繩を解かれた」という意味で、自ら名乗ったのである。

慶応二年（一八六六）六月、第二次長州征伐で、幕府軍が防長の四境（周防大島口、芸州口、石州口、小倉口）に迫るや、名和は、芸州口方面の総指揮官として芸州口の小瀬川口に出陣し、書記として活躍した。

明治元年の春、名和は京都に出て岩倉具視邸に身を寄せ、また、後には木戸孝允の知遇を得て、国事に奔走した。

そして明治二年八月、新潟藩庁の大参事を拝命したが、在職わずか一年余、翌明治三年一〇月には思うところがあって辞職した。

翌明治四年、米国に留学し、ボストンで民法学を専攻して研究し、大いにその前途を期待されていたが、明治六年、道半ばにして宿舎で没した。享年三六歳。明治三五年、幕末の功績を追賞され、従四位を贈られた。天神山公園の一角に名和道一の墓がある。

（吉敷赤田平和生 著）

シリーズ
地名

4 「小字の地名（前編）」

小字の地名は、住民が日常生活の中で必要上使ってきたもので、吉敷にはおよそ480か所数えられる。中には、正式に使用していても土地台帳にないものや、現在でも場所を伝えるため使用しているものがある。

畑には、地形からついた地名がある。「大坪」は、周防・長門の国境にあり、文字通り大きな峠である。タオは、山脈のタワツた所をいう。「奥田」「大曲」「傍示」も地形を表わす。

中尾は、東鳳凰山からほぼ中央に突き出た大地の両側に谷を形成している。これを「東の浴」「西の浴」と呼んでいる。

鋤尖山のふもとを「出水」と言うが、出水とは清水の湧き出る地域を表している。



東鳳凰山からみた中尾

赤田神社の背後を「宮の後」と言うが、これらは今でもよく使われている。ほかに、凌雲寺に開く「花河原」「寺内」、弓の射る所を「射場」と言うが、僧侶の居た名残りであろうか。

赤田の「大坪」は、条理制度に由来する。土地配分の単位に使われた。

「閑屋」には、大内時代に閑所が置かれていた。近くに茶屋もあった。

「野口」は、山地にさしかかった所を表している。一般には、旅する人が峠にさしかかり、旅支度を整えた所を言う。

「小高」は、一方が高い所、つまり一方に山を背負った地形である。

「寺領」とは、一般的には寺院の領地だが、近くに寺院が見当たらない。しかし、大内時代は西庄の一部で防府の阿弥陀寺領、毛利氏の頃は、山口の香山国清寺に寄進されたと言ひ伝えがあるが、確証がない。「西庄」は、現在の赤田付近に当たるので、国清寺領と考えるのが妥当であろう。

伝統文化吉敷いけばなこども教室

DATA

【活動日】毎月第3水曜日 15時30分～16時30分
【活動場所】地域交流センター 講座室
【会員数】22名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よきで輝く」。毎年、5月から翌年の1月にかけて、地域交流センターでは「伝統文化吉敷いけばなこども教室」が開催される。今年で18年目を迎え、長きにわたって続く。今回は、そんなこども教室取材した。

指導者の村田美代子先生は、華道家元池坊山口支部の常任委員で、池坊には18歳で入門、昨年は70周年を迎えられた。年齢は今年で89歳、小柄で優しいおばあちゃんといった感じだが、元氣な子どもたちにもしっかりと指導をされている。吉敷畑在住。

子どもたちに活け花を始めた理由を聞いてみた。「空手が好きだけど、お花も綺麗と思うから。」とは小学2年生の山田祐輔くん。「お母さんに言われたってのもあるけど、お花って普通あんまり触らないから新鮮なの。」とは小学3年生の長坂汐莉ちゃんだ。「毎回違うお花を活けるし、先生に教えてもらいながら工夫するのが楽しいです。」とは小学6年生の河口輝来さん。

こども教室では、普段のお稽古の成果として、吉敷ふるさとまつりや、毎年11月下旬に市民会館で



活け花で優しい心を育みませんか!

開催される池坊山口支部花展に出瓶する。子どもたちにとっては貴重な経験だろう。

「活け花を通して、子どもが優しい気持ちになることが大切。吉敷でそんな子どもをたくさん育てたいと思って、今まで一生懸命続けてきました。」と村田先生。

毎年4月にこども教室の募集をするので、興味のある方は活け花に挑戦してみたいかがだろうか。

「昔のはなし」

私が生まれた昭和26年頃の吉敷といえば、家を出ると田んぼばかりで、私の住む木崎から鳳翔山のふもとまで、ずっと続いていました。当時、「米俵3俵で高卒の給料になる」と聞いたことを、今でもよく覚えています。

この頃、道路といえば舗装されておらず、国道9号線を赤いボンネットバスがゴトゴトと走っていました。吉敷は本当に不便な地域でした。

昭和38年、第18回山口国体が開催され、維新公園陸上競技場で開会式が行われました。道路はきれいに舗装され、県道のガードレールは夏みかんの黄色に塗り替わっていました。

当時、小学校6年生だった私は、メインスタンド前において、全員でマースゲームを行いました。その翌年は、東京オリンピックが開催された時代です。

これより交通環境は大きく変化していきます。昭和47年、山陽新幹線「新大阪ー岡山」間が開通。昭和55年頃には、山口市内で山口バイパス工事が進み完成。その後、山口宇部道路が開通して、現在に至っています。

今では、私が幼い頃の記憶とは全く環境が変わり、毎日多くの人や車が行き交う、一大住宅地域となりました。

広報委員 内田 信行

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索